

新入社員合同入社式 ・合同研修会開催



組合会館前の桜が八分咲きになつた4月1日・4日に、新規学卒者を対象とした合同入社式と新入社員研修会が開催されました。今回は6社から24名が参加しました。

最初は緊張した面持ちで臨んだ入社式、開式の挨拶に立った木村副理事長からは「健康であれ」と3つの健康（身体・心・財布）を教示され、鈴木理事長からの「企業は社会貢献のためにある。フレックスユマンの皆さんはそのためにチャレンジし、会社にイノベーションを起こすよう期待されている」

福浦地区に廃棄物 焼却施設設置の動き

当組合は、かねてより団地企業の立地環境保全のために廃棄物処理施設の進出についてこれまで様々な取組を進めてきました。すなわち「幸浦二丁目MDC地域まちづくり協定」の認定および「地

との激励の言葉に表情を引締めました。それでも一人ひとりの自己紹介になると、自然と笑みがこぼれました。

記念品贈呈後、ユニマットキヤラバン(株)入社的小杉比那さんの元気な謝辞、組合会館前での集合写真撮影を終え、入社式はつつがなく閉式しました。

引き続き2日間に亘る、ビジネスコンサルタント姉小路先生による新入社員研修が実施されました。社会人としての基本マナー、大きな声での挨拶の仕方、名刺の受け渡しなどの所作を学ぶことはもちろん、グループに分かれての課題研究、さらには「LIFO(ライフォール)」による自己分析ツールにより「自分」をより深く知るところを試みました。これらは各会社での仕事に大いに役立つでしょう。

6か月後、フォーアアップ研修での再会を誓って、二日間のプログラムは無事終了しました。

区計画「指定地区を受け、当団地内既存企業の操業環境を守り、団地資産価値の維持向上に努めているところ」です。しかし、福浦地区での廃棄物処理施設の建設・増設は後を絶たない状況です。

組合としては産業連絡協議会の土地活用協定運営委員会において、当組合の考えとして「これ以上の廃棄物処理企業の進出および増設

は抑制して欲しい」と要望してきましたが、横浜市の規制基準以内であればどうすることもできない、という状況でした。

ところで今回、福浦1〜15〜1にアイテック(株)の廃棄物焼却施設建設計画が進んでいるとの情報を金沢産業連絡協議会から受けました。その概略は次の通りです。

- ・事業者名・アイテック(株)(本社住所・大阪市北区梅田3〜3〜10)
- ・名称・アイテックエコパーク横浜新設事業
- ・敷地面積・5,397㎡
- ・建築面積・1,525㎡
- ・廃棄物処理能力・1日当り95t
- ・煙突の高さ・35m
- ・工事期間・平成28年6月〜29年12月(以上公開情報抜粋)

金沢産業連絡協議会はこれに対し、市へ陳情書を提出しました。内容は、①産業団地への進出において土地活用協定の手続きがされていない、②環境アセスメントの実現を要望、③地域の産廃事業に係る状況の評価分析資料がない。既に30社以上の産廃処理事業者が集積し、370t/日の処理能力を有する事業者があり、さらに95t/日の処理計画があるが、これ以上の許容は検討願いたい。

これに対し市は①土地活用協定に沿った手続き指導および産廃協定の協議を行うよう指導する。②環境アセスメントを実施するかどうかは環境影響評価審査会の答申による。③評価分析資料の提出は審査会で必要の可否を決めることになっている。許可申請があれば厳正に指導、適正な維持管理の指導を行う。と回答しました。その後、審査会の判定は、環境アセスメントは行わないとの結論でした。

こうした動きと並行して、当組合として横浜市に対し、「金沢臨海地区(福浦・幸浦)における廃棄物処理施設の設置面積総量規制条例制定のお願い」の要望書を2月19日に提出しました。要旨は、①廃棄物処理施設の面積規制、②アイテック(株)の計画申請を却下する要望です。

しかし、この要望書に対する回答は、①産連協の土地活用協定の見直しによるルールの変更を行い、市長の認定を受け廃棄物企業進出抑制はできるが、周辺企業との調整を良く図ること。②許可申請があり、基準内であれば許可する、というものでした。

隣接の住宅団地である金沢シーサイドタウン連合自治会もこの動きに危惧をもっており、アイテック(株)の説明会には一緒に参加して欲しいという意向でした。

組合では産連協との足並みが揃うように努力を続けつつ、横浜市当局や市会議員との情報交換により環境保全の方策を検討してまいります。

株式会社 **アイン**

石塚清堯社長に聞く

——最も新しい組合員ですね。

石塚 今年(平28)1月6日から当地で営業を開始しました。

——事業内容は?

石塚 ひとは洗剤等の製造販売事業、もうひとつは看板の保守点検・設置事業です。

——ふたつの事業は関連がないように見えますが?

石塚 当初、米国のJ.B.ケミカル社やJ.C.ガレット社の極東独占販売権を取得し、シミ取り洗剤などを販売していました。その洗剤が看板の汚れをよく落とすことから、アウトソーシングされるようになり看板メンテナンス業務を始めたのです。

——看板メンテナンスとはどのような事業なのでしょう。

石塚 たとえば大手コンビニのフランチャイズ店を巡回し、アクリル製看板の清掃、照明器具の点検・交換、落下防止といった業務を二人一組で行います。——看板は高いところにありますね。

石塚 ですから高所作業車を7台保有しています。今年度はビル10階相当(27m)まで伸びる大型作業車を導入します。——看板事業に力を入れているんですね。

石塚 看板メンテナンスで培った経験を生かして「看板の救急隊」という事業も始めています。

老朽化した看板に緊急対応して事故を防ぎ、美しく安全な街づくりには貢献できれば、と思っています。将来的には、看板に関するすべてをフォローするプロ集団を目指しています。

——社名「アイン」の由来は?

石塚 ドイツ語の「一番」。トップを目指します。日本語でも「ア」は一番ですからね。



——経営理念は?

石塚 GIVE OUR ALL (全力をつくす)を企業コンセプトにしています。それを支えるのが「エクセレンス(卓越性)」「エキスパート(専門性)」「エボリューション(変革)」の三つの「E」です。

——ご自身の趣味は?

石塚 一級小型船舶免許を持っています。船で海に出るのが最近の楽しみです。逗子の自宅近くのマリナーにボートを置いています。

簡易無線機を活用した
総合防災訓練を実施

2月23日、今年度2回目のMDC防災訓練が金沢消防署幸浦出張所の指導のもと、組合会館を利用して実施されました。

今回は今年度導入した簡易無線機5台を駆使し、大地震発生を想定した情報連絡、消火、救護、高所への避難誘導を行う本格的な総合訓練です。

まず約30名の参加者を本部、情報連絡、消火、救護、避難誘導の5隊に編成します。

各隊に1台ずつ配置された無線機を使って情報の受信、伝達、指示を訓練するだけでなく、災害対策本部から出される指示に従って実際の防災行動(消火器操作、三角巾・副木、担架・リアカーでの搬送等)を訓練しました。

無線機による情報伝達は初めての試みなので訓練にあたっては、大地震発生から避難誘導までのシナリオを作成し、参加者には事前配布しています。その台詞を読みながら行動すればよいはずでしたが、携帯電話のような相互通信のできない無線機では聞き取りも難しく、対策本部では複数の人員で交信内容を記録する必要性も分かりました。

シナリオの中盤までは順調に進



負傷者を駐車場屋上へ担架で搬送訓練

んでいた訓練でしたが、複数の防災行動が同時進行となると、交信も乱れ一方的に話すだけの場面も見られ、無線交信の難しさを体感しました。

最後は、津波到達を想定し、負傷者を担架・リアカーで高所(立体駐車場屋上)に搬送する訓練に参加者全員が一致協力して実施して今回の訓練を終えました。

共用汚水管から木の根?
トラブル相次ぐ

新しい年となりもう少しで年度が終わろうとしている時、共用汚水管が何らかの原因により詰まり汚水が流れないトラブルが立て続けに二件発生しました。いずれも複数の企業が使用する「共用汚水管」で発生したものです。

通常汚水管は建物ごとに公の升・本管に接続するものですが、MDC卸団地が造成された当時、連棟建物、小規模の建物間では複

数の企業ごとに二次枘を設け、共用汚水管を共同で利用し、それを介して一次枘(本管側)に流す設備が施されているところがあります。詰まりの原因のひとつは、木の根が汚水管と枘との接続部分から入り込み成長して、流れを妨げたことによるものです。

複数の企業で使用する共用汚水管のトラブルでは、改修費用を各社の4か月の水道使用量で案分していたルールになっています。頻繁に発生する案件ではないので、その都度規則を提示しご理解いただいた上で組合から負担金を個々に請求させていただきました。

MDC創立40周年を迎えるにあたり、インフラの老朽化も喫緊の課題となっていますが、症状が現れた際の迅速な対応がご負担を軽減できる方策の一つであることは間違いありません。各社様におかれては自社の上下水道、電気系統等の敷設状況を是非ご確認いただきたく存じます。



汚水管トラブルの原因を調べると……



12月定例理事会報告

- 開催日時 12月9日(水)15時
- 開催場所 組合会館2階会議室
- 出席理事 12名(1名欠席)
- 提出議案
- 第一号議案 日本通商(株)のジェー
ケイサツシ(株)跡地進
出に係る加入承認の
件
- 第二号議案 各委員会報告
- 第三号議案 C O C 事業推進委員
会報告
- 第四号議案 転貸融資実行報告
- 第五号議案 その他報告事項
(1)年末年始スケジュール

- 開催日時 2月10日(水)13時半
- 開催場所 組合会館2階会議室
- 出席理事 10名(3名欠席)
- 提出議案
- 第一号議案 第3四半期財務状況
報告
- 第二号議案 中光印刷(株)の(有)タキ
オアートスタジオへ
の持分譲渡承認の件

- 第三号議案 転貸融資実行報告
- 第四号議案 組合創立40周年事業
進捗状況報告
- 第五号議案 湘南食品(株)跡地につ
いて
- 第六号議案 金沢臨海地区の廃棄
物処理施設規制条例
設置要望の件

- 第七号議案 その他報告事項
- (1) C O C 事業推進委員会報告
- (2) 神奈川県卸商業団地組合協議会
の件
- (3) (株)濱鈴の3月退出届取下げの件
- (4) (株)サインワールドジャパンの状
況報告
- (5) 企業経営革新研究会(仮称)準備
会報告
- (6) K D D I (株)の中継アンテナ、組
合会館屋上設置報告



事業委員会

- 開催日時 12月3日(水)10時
- 開催場所 組合会館2階会議室
- 出席委員数 7名
- 検討内容
- (1) 組合創立40周年事業について
- (2) 立体駐車場の長期止め置き駐車
の件
- (3) その他報告事項



12月社長会冬期研修会

- 開催日時 12月9日(水)18時
- 開催場所 仏蘭西料亭 霧笛楼
- 出席会員数 32名

12月社長会幹事会

- 開催日時 12月15日(火)13時半
- 開催場所 組合会館2階会議室
- 出席幹事数 6名
- 検討内容
- (1) 平成27・28年度事業の検討
- (2) その他報告事項

平成28年賀詞交歓会

- 開催日時 1月13日(水)正午
- 開催場所 組合会館2階会議室
- 参加人数 39名

2月社長会定例会

- 開催日時 2月10日(水)
- 開催場所 組合会館2階会議室
- 出席会員数 29名
- テーマ 「ストレスチェックの
ポイントと実践」
- 講師 金盛 守人 氏
(社会保険労務士)

組合創立40周年 事業の報告

◎式典・祝賀会の会場決まる。

平成28年11月11日に予定の組合創立40周年記念式典・祝賀会の会場が決まりました。会場は、ヨコハマグランドインターコンテコンチネンタルホテルです(30周年記念式典の会場と同じ場所です)。
◎ロイヤル・ウィング船上パーティー
参加アンケート数予想を上回る。

平成28年11月12日実施予定の社員および家族のみなさんを対象にしたロイヤル・ウィングでの船上パーティーの第一次アンケートでの回答は47社411名(内訳：従業員219名、家族大人122名、家族子供70名)の参加予定数となっています。(H28年3月4日現在)

普通救命講習実施

3月17日、組合会館で幸浦二丁目自衛消防隊主催による普通救命講習が実施され、MDCからは19名が参加しました。指導は金沢消防署および幸浦消防出張所からの隊員の皆様です。



この講習は毎年一回、3月に定期的に行われていて多くの方々を受

講じています。心肺蘇生に関して心臓マッサージと人工呼吸、AEDの取扱いを実地で学びます。過去、受講の経験者でも繰り返し受講することで確実に習得できます。毎年この機会を設けますので、初めての方も、受講経験者も是非ご参加ください。

株大倉物産 横浜環境活動賞の受賞決定

横浜市環境創造局は、地域で様々な環境活動を積極的に行っている個人や企業を表彰する制度を、平成5年度から行っていて今年度で第23回になります。

このたびの受賞企業はいずれも名だたる大企業ですが、その中で当組合員企業である(株)大倉物産が見事に環境活動賞の実践賞を受賞されました。

同社の宮崎正男社長は商売の基本である「三方よし」をさらに発展させ「四方よし」を提唱しています。「売り手(社員)」「買い手(顧客)」「世間」の三方に「自然」を加え、四方に良い会社をめざすというユニークな取組を実践されていることが高く評価されました。

同社は、エコアクション21の認証登録、経営革新登録、事業継続計画(BCP)の二級認定、横浜地域貢献企業など環境活動に熱心に取り組む、その結果が今回の快挙になりました。

組 合 日 誌

<p>5 金沢区消防出初式 * タイムズサービス(株)と駐車場利用の件 打合せ * 京浜警備保障と打合せ</p> <p>7 県中央会賀詞交歓会 * 市商連賀詞交歓会 * ㈱さんぽうと求人説明会の件打合せ</p> <p>12 県・市指導機関等への三役挨拶回り</p> <p>13 MDC賀詞交歓会</p> <p>14 英会話教室</p> <p>19 厚生年金基金月例監査 * 厚生年金基金理事会</p> <p>20 商団連委員会 * 中堅営業・管理者養成セミナー</p> <p>21 商団連世話人会 * ㈱ビジネスコンサルタントと研修会の件 打合せ * 英会話教室 * 生活改善プロジェクトミーティング</p> <p>22 消防外部研修会</p> <p>23 MDCアウトレットセール</p> <p>25 アウトレット部会</p> <p>27 厚生年金基金代議員会</p> <p>28 商団連賀詞交歓会 * 英会話教室</p> <p>29 舟橋所長と消防訓練について打合せ</p>	<p>2 第2回COC事業推進委員会 * 社会保険労務士金盛氏と打合せ</p> <p>4 英会話教室</p> <p>5 金沢臨海部合同消防訓練 * 横浜総合卸センター賀詞交歓会</p> <p>8 経営革新研修会準備会 * 産連協総務委員会</p> <p>10 三役三委員長会議 * 社長会定例会 * 定例理事会</p> <p>12 野毛印刷とリーフレットの件打合せ * 舟橋所長と防災訓練の件打合せ * 英会話教室</p> <p>15 慶応義塾大学大西准教授と研修の件打合せ * MDC青年部会</p> <p>17 中堅営業・管理者養成セミナー * 県中央会主催、決算講習会(～18日) * ㈱金沢問屋センター視察来所</p> <p>18 横浜市大嶋志田教授と委員会下打合せ * 英会話教室</p> <p>22 ㈱サインワールドジャパンと人事異動の件打合せ</p> <p>23 MDC防災訓練 * 食品衛生講習会</p> <p>24 富士通ネットワークソリューションズと打合せ</p> <p>25 英会話教室</p> <p>27 MDCアウトレットセール</p> <p>29 アウトレット部会</p>	<p>3 商団連事前準備打合せ * 英会話教室</p> <p>4 商団連事務局長会議 * 県中央会互助会大会</p> <p>7 県卸地協議会研修会</p> <p>8 ㈱横浜シーサイドライン取締役会</p> <p>9 三役三委員長会議 * 定例理事会 * 社長会定例会および懇親会</p> <p>11 ㈱ビジネスコンサルタントと研修会の件打合せ</p> <p>15 産連協事務局担当者会議 * 横浜MDC会 * ㈱濱鈴とプロパンガスの件打合せ * 商団連栗原専務と打合せ</p> <p>16 統一清掃日</p> <p>17 普通救命講習会(二丁目消防隊) * 英会話教室</p> <p>22 ㈱金沢臨海サービスと緑地剪定の件打合せ * MDC青年部会</p> <p>23 中堅営業・管理者養成セミナー * シーサイドタウン連合自治会と焼却施設の件打合せ</p> <p>24 英会話教室</p> <p>26 MDCアウトレットセール</p> <p>28 アウトレット部会</p> <p>29 第3回COC事業推進委員会</p> <p>31 岩岡氏とソフトの件打合せ</p>
---	--	--

横浜MDC会、好天のもと開催

3月15日、磯子カンツリークラブで第83回「横浜MDC会ゴルフコンペ」が開催され、3組9名のハンデキャップ戦が行われました。

今回は、参加者こそ少なかったのですが、絶対の好天に恵まれ、各組熱戦が展開されました(ここ数回は晴天に恵まれ、天候をスコアの言い訳にできない状況が続いています)。

今回は、商団連(全国卸商業団地協同組合連合会)からも2名参加いただき、プレー後のパーティーでは昨今の卸団地の情報交換を行いながら和やかなひと時となりました。

コンペの結果は、守屋医療酸素商会(株)の新井常務がNET75の見事なスコアで初優勝です。新井常務におかれては4月の異動が決まっています、ハンデキャップ見直しの対象外となるはずでしたが、「勝ち逃げ御法度」となりハンデも大幅削減で、次回参加を確約させていただきました。再び熱戦への参加をお待ちいたします。

お 知 ら せ

了しましたが、18名の受講者が10日(20時間)間以上を受講しました。

中堅社員・営業業務・管理者業務の三部門のセミナーでエラーニングを併用しながらの集合研修はほかでは例がないそうです。

ほぼ1年間、月一回のペースでしたが、やり終えた受講者は安堵と充実した表情でセミナーを終えました。

最後に、森田俊担当副理事長が、20時間以上の受講者に対し、組合理事長名にて優良修了書を一人一人に手渡し、労をねぎらいました。

さらに、12回のセミナーの講師を務められたマイスター・コンサルタント(株)代表の小池浩二先生に対し受講者から感謝の拍手が送られました。

なお、第二期(平成28年度)の中堅営業・管理者養成セミナー(エラーニング付き)は約1か月早く4月20日に開講しました。

編 集 後 記

■ストレスを受けると交感神経と副交感神経のバランスが崩れ、心臓が高まり、呼吸が早くなり、額に汗を滲ませます。こうしてストレスは体に悪影響を及ぼすと考えられてきました。■だが一方でストレスが健康に悪いのは、そう信じられるからだ、と考える逆の新しい研究が注目されています。■米国の女性心理学者マクゴニガルは8年間の追跡調査の結果、ストレスが健康に害になると信じた人達の死亡リスクは、確かに43%高かったのですが、強いストレスを経験してもそれを無害だと思っ人達の死亡リスクはストレスが殆どなかったグループと同様の低い死亡率だったと述べています。この研究から、ストレスに対する考え方を換えればより健康になれると科学は答えています。■この点を理解するにはストレスを受けると分泌されるオキシトシンというホルモンが関係していると言われてます。この物質は愛情ホルモンとも呼ばれ育児やペットの愛玩また既婚者のほうが長命であるなどの例として挙げられます。■私達経営者も部下を能力のみで判断するのではなく、健康面や家族状況等全人的に掌握し、ケアする事で自らのストレス反応をより良いものにすると考えられるのです。

(総務副委員長 齋藤良雄)

- セミナー受講者に優良修了証を交付**
- 昨年5月に開講した中堅営業・管理者養成セミナーは、3月23日をもって、第一期12回コースが修
- MDC社長会総会
5月20日(金) 正午
 - 組合員全体会議
5月20日(金) 午後1時
 - 第40回組合通常総会
5月30日(月) 午前10時

総会等開催日程予告